（研究業績書記載例、Ａ４用紙を使用し右肩に頁数を記入）

－１－

研　究　業　績　書

　　年　　月　　日

氏名

（著書）

［欧文］

１. Kochi T, Tosa J: Environmental & Preventive Medicine (Nankoku S, Nakamura S eds) Molecular carcinogenesis, pp65-85, ○○ Printing, Tokyo, 1998
２. Kochi T: Handbook of Human Vibration, pp1-354, ○○ Press, London, 2002

［和文］

1. 高知太郎，土佐次郎，南国三郎，中村四郎，安芸五郎，窪川六郎：筋組織の神経支配（南国三郎，中村四郎編）第2章　各動物の筋組織の構造，30-100頁，○○書院，東京，1996

２．高知太郎：平滑筋線維の分析，全500頁，○○書房，大阪，1997

（学術論文）

［原著，欧文］

**◎**１．Kochi T，Tosa J: Some observations on muscle spindle of the frog.

T Cell Biol 35:105-126，1995 （IF3.20）

［原著，和文］

**○△**１．土佐次郎，高知太郎：筋紡錘知覚終末の電子顕微鏡による比較形態学的研究，電子顕微鏡　35：51-80，1997

**○**２．高知太郎：筋紡錘知覚の電子顕微鏡による形態学的研究，電子顕微鏡　36：111-117，1998

（学会発表）

［国際学会］

　一般演題

１．Kochi T，Tosa J: Some observations on muscle spindle，36th International Congress of Muscle Spindle，Paris，1996

［国内全国学会］

　シンポジウム

1. 高知太郎，土佐次郎：眼の強膜と網膜のグリコーゲン代謝について，

第○回日本○○学会シンポジウム：眼の糖代謝，高知，1994

研究業績一覧表（記載様式）

　　　　年　　月　　日

氏名

著　　書　　　　　　計○○冊（うち単著又は筆頭者○○冊）

　　　　　欧　文　　　　　　○○冊（うち単著又は筆頭者○○冊）

　　　　　和　文　　　　　　○○冊（　　　　　〃　　　○○冊）

　　　学術論文　　　　　　計○○編（うち単著又は筆頭者○○編）

　　　　　原著　　　　　欧文○○編（うち単著又は筆頭者○○編）

　　　　　　　　　　　　和文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　総説　　　　　欧文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　　　　　　　　和文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　症例報告

　　　　　　　　　　　　欧文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　　　　　　　　和文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　その他　　　　欧文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　　　　　　　　和文○○編（　　　　　〃　　　○○編）

　　　　　Impact Factor(2022年版)総得点 ○○点

【うち単著又は筆頭者のImpact Factor総点数○○点，

　　　　　　　　　Corresponding author（上記の「単著又は筆頭者」分を除く）の

Impact Factor総点数○○点】

　　　学会発表　　　　　　計○○回（うち筆頭者○○回）

国際学会

　　　　　　特別講演　　　　○○回

　　　　　　シンポジウム　　○○回（うち筆頭者○○回）

　　　　　　パネル・ディスカッション

　　　　　　　　　　　　　　○○回（　　〃　　○○回）

　　　　　　ワークショップ　○○回（　　〃　　○○回）

　　　　　　一般講演　　　　○○回（　　〃　　○○回）

国内全国学会

特別講演　　　　○○回

教育講演　　　　○○回

　　　　　　シンポジウム　　○○回（うち筆頭者○○回）

　　　　　　パネル・ディスカッション

　　　　　　　　　　　　　　○○回（　　〃　　○○回）

　　　　　　ワークショップ　○○回（　　〃　　○○回）

記　載　要　項

下記の事項に十分ご留意の上，応募書類を作成して下さい。

１．履歴書（様式１）

　　（１）記載例に従って記載して下さい。年号は西暦で記載して下さい。

　　（２）「学歴」の欄には，高等学校卒業以降の学歴を記載して下さい。

　　　　　学位については，授与された大学名も記載して下さい。

　　　　　医師免許証，歯科医師免許証等の取得及び交付番号はこの欄に記載して下さい。

　　（３）「職歴」の欄には，職歴及び研究生，専修生等（外国留学等を含む）について記載し，教育歴及び研究歴には，所属講座・部門等まで記載して下さい。

　　（４）「学会及び社会における活動等」の欄には，学会会員，認定医，専門医，指導医，標榜医等の資格及び全国的な社会活動を記載して下さい。

　　　　・　全国学会の会員・役員を記載（地方学会役員を除く）して下さい。

　　　　・　厚生労働省（旧厚生省を含む）の班会議の班員歴がある場合はこの欄に記載して下さい。

　　　　・　学会誌の編集委員は「（その他）」として記載して下さい。

　　　　・　査読や学会誌以外の編集委員は記載しないで下さい。

　　　　・　学会その他の委員会委員は記載しないで下さい。

　　　　　科学研究費補助金等の取得歴については，**代表研究者分と分担研究者分を分けて（末尾にそれぞれ代表，分担と記載）年代順に記載して下さい。**また，同一テーマで多年度にわたり取得している場合は１つにまとめて下さい。

　　　　知的財産については，取得分，出願分の課題名と出願番号，公開番号等を記載して下さい。

（５）「賞罰」の欄には，研究活動に関する表彰等も記載して下さい。

２．研究業績書（記載例に基づく）

研究業績書記載例を参照して，Ａ４用紙に記載して下さい。１枚に記載しきれない場合は，同大の用紙を追加し，右上隅に番号をつけて下さい。また，作成書類は，左側を綴じ代として２５mm空けて下さい。

（１）著書

・　欧文，和文別に分け，年代順に記載して下さい。

・　分担執筆の場合は，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。

・　２頁以内の分担執筆（和文）は「学術論文」欄の「その他」に分類して下さい。

・　印刷中（In Press）のものについては，掲載証明書を添付して下さい。

（２）学術論文

・　原著，総説，症例報告，その他の順で欧文，和文に分け，年代順に記載して下さい。なお，著者全員の氏名を論文記載の順で記し，応募者本人のところにアンダーラインを引いて下さい。

・　原著，総説，症例報告，その他の項目それぞれについて，欧文，和文別に一連番号をつけて下さい。

・　学位論文に◎印，代表論文(１０編)に○印，Corresponding author(「単著又は筆頭者」分を除く)としての論文(記載要項２.(４)参照）に△印をそれぞれ論文番号の前につけて下さい。

　　またCorresponding authorとして△印を付けた論文については，Corresponding authorの記載がされているページがある場合は，そのページのコピーを併せて提出して下さい。

・　Journal Citation Reports（２０２２年版）のImpact Factorを，各論文の後に（　）をつけて記載して下さい。

・　印刷中（In Press）のものについては，掲載証明書を添付して下さい。

　　　　①　原著

　　　　　　　欧文誌の場合のImpact Factorは頁数の多少にかかわらずそのままカウントして下さい。和文の場合，学会誌以外のものは「その他」に分類して下さい。

　　　　②　総説

　　　　　　　欧文や和文の学会誌の総説を記載して下さい。査読のない商業雑誌やその別冊の総説は「その他」に分類して下さい。

　　　　③　症例報告

　　　　　　　欧文誌の場合のImpact Factorは頁数の多少にかかわらずそのままカウントして下さい。

　　　　④　その他

　　　　　　　Editorial，Letter to the Editorはその他に含めて下さい。

　　　　　　　報告書，学会の抄録，パンフレット等の文献は記載しないで下さい。

（３）学会発表

　　　　　学会発表は，国際学会については，特別講演，シンポジウム，パネルディスカッション，ワークショップ，一般講演の区分を明示し，それぞれ年代順に記載して下さい。また，発表者は全員を記載し，応募者本人のところにはアンダーラインを引いて下さい。

　　　　　国内学会は，全国学会についてのみ，特別講演，教育講演，シンポジウム，パネルディスカッション，ワークショップに分け，それぞれ年代順に一連番号を付けて記載して下さい。また，発表者は全員を記載し，応募者本人のところにはアンダーラインを引いて下さい。

（４）研究業績一覧表

　　　　　研究業績目録に記載した業績を，記載様式に従って一覧表に記載して下さい。

　　　　　Impact Factorの総得点並びに，Impact Factorの総得点のうち単著又は筆頭者，及びCorresponding author（「単著又は筆頭者」分を除く)のImpact Factorの総点数をそれぞれ記載して下さい。

３．代表論文（１０編）に関わる事項（様式２）

（１）著者名（全員・応募者本人のところにはアンダーラインを引いて下さい。）

（２）論文題名

（３）掲載雑誌名とImpact Factor（２０２２年版）,Citation Index

（４）内容要約と主張点（２００字以内）

（５）論文の特色と意義（２００字以内）

（６）論文作成における，応募者の具体的役割または担当事項（１００字以内）

（７）本論文への応募者の貢献度を，５を最高，１を最低とする５段階で自己評価し，該当する数字を（　）内に記載して下さい。